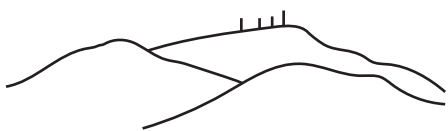


Youth Manna

2020/11/23 - 11/29



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2020/11/23(月)

エレミヤ 50:1-20

神様はバビロンを、神の民と周辺諸国をさばくために用いられました。しかしバビロンも後に主のさばきを受けることになります。バビロンの崩壊は、神の民にとっては悔い改めて神様を慕い求める時となりました(3-5)。

「その日、その時」と4,20節にあるね。何事にも時があるけれど、最も覚えておくべきは神様の時です(伝道者章3)。全ては分からなくても、神様の時があるという事実を覚えて、神様に信頼しよう！

世界に、そして日本に神様の時が来ることをあなたはどのように信じ確信しているかな？自分の人生にも神様の時があることをよく考えて、将来のことも祈っていきましょう！

2020/11/24(火)

エレミヤ 50:21-46

バビロンに対するさばきの言葉が続きます。21節の地名はバビロンを指す地名です。さばきの理由は29節、神様に対する高ぶりでした。バビロンは北の大国ペルシアに滅ぼされ、その後この地は荒れ果てて、砂漠に埋もれていく道を辿ります。

25節にあるように、これらのさばきは神様によって成ることでした。私たちは「自分は、自分は、」と考えがちだけれど、「神様は」という視点を持って自分自身のことも周りのことも見る必要があるね。

自分の生活を振り返ってみて、今、神様には自分がどのように見えているだろうか。そのことを意識しながら今日を歩もう！

2020/11/25(水)

エレミヤ 51:1-19

前章からバビロンへの裁きのことばが続く。主の主権のもとでバビロンが滅ぼされること、ご自分の民であるイスラエルが回復することが語られる。

「滅ぼす者の霊」(1)とは具体的にバビロンを攻める人々のことである。主は彼らを奮い立たせて、バビロンを滅ぼすために用いられる。そしてその中で主は、5節にあるようにイスラエルが回復するという約束も明らかにしておられる。この後もバビロン崩壊の預言が続くが、その中でも主の民イスラエルが回復し、主のみわさを語る時が来るということが記されている(10,19)。

主のみわさを、主のことばを語る準備はできているだろうか？そのときに、主に用いられる者となるように、今何が必要だろうか。

2020/11/26(木)

エレミヤ 51:20-44

どうやって主の計画を知ることが出来るだろうか。祈り、聖書を読み、主の語りかけを聞く必要がある。

主はバビロンを諸国をさばくために用いられた。(20-23)しかし、バビロンも主によってさばかれる時が来る。その時バビロンは永遠に荒れ果てた地になると語られた。(26)

このことばを語るように言われたエレミヤはどこまで理解していただろうか。語られた人々はどのように思っただろうか。時に私たちには理解できないことが起こり、悩むことがある。でもその時にこそ主により頼み、みことばを聞く必要がある。

神様の思いに目を耳を傾けられるよう心がけよう。祈ろう！

2020/11/27(金)

エレミヤ 51:45-64

▶月曜日から続いてきたバビロン崩壊についてのことばも今日で終わる。バビロンへのさばきが語られる中で、主は捕囚されたイスラエルの民に対して「遠くから主を思い出せ」と命じた(50)。更に、主ご自身がみこころを行うことを明らかにされた(52-58)。主の民は、自分がどこにいたとしても、主の言葉と主のなされたことを思い続ける必要がある。

▶毎日の中で、主を忘れて生活してしまうことはないかな？主はあなたを愛しているから、もっと親密な関係を築きたいと願っている。日々の生活の中で神様を忘れずに歩むことができるように、お祈りしよう！

2020/11/28(土)

エレミヤ 52:1-16

ゼデキヤは王様になって、神様の前に悪いことをしていたね。そんな中バビロンにエルサレムは攻撃され倒されてしまう。王の子どもたちは殺され、ゼデキヤ王もひどい仕打ちを受け、町は火で焼かれてしまったね。

それは2節3節にもあるように主の前に悪であることを行い続け、主が怒られたからだだった。でも、神様の怒りや裁きは、ただ人々を苦しめることが目的ではなく、そのことを通して悔い改めて神様のところへ戻って来れるようにという、愛があるものなんだ。

時に私たちにとって痛いことを通しても神様が教えてくれることがある。君が今神様に語られていることはなんだろう？

今日は第一アドベントです。 2020/11/29(日)

イザヤ 9:1-6

今日の箇所では、暗闇で覆われていた地に主の栄光の光が輝くことが書かれており、光に照らされた民には大きな喜びと平和が訪れます。このような喜びはどのようにしてもたらされるのでしょうか。

それは決して人の頑張りによって得られるものでも、勝ち取れるものでもなく、ひとりの男の子の誕生が、その喜びをもたらすと預言されています。みどりごとしてこの世にお生まれになるイエス様が、この地の闇を光によって追い払い、喜びと平和をもたらしてくださることが現わされているんだね。

イエス様が私たち一人ひとりのうえにも光を輝かせてくださる主であることを、自分のことばで宣言し、祈ろう！！

万軍の主であるイエス様。暗闇に光を輝かせることができるのはあなたおひとりです。この地の闇を、私の心にある闇をあなたの光で追い払ってくださいますように。